



高速異材選別モード – 超高速1周波判別 信号反転点の自動認識

他のあらゆる材料判別アプリケーションと同様に、「高速選別」モードは部品の材質や形状のバラつきを選別するために用いられます。しかし他のあらゆる判別アプリケーションと異なり、外部トリガやタイムトリガが不要だけでなく部品を検査位置に固定する機械的ストッパーも不要です。

「高速選別」モードは、信号のシンプルな閾値設定を利用してセンサに投入された部品を検出します。一旦このモードが起動すると、検査信号の反転点を認識し、この点は部品の中心がセンサの中または下に再近接したことを示します。

検査信号が部品がセンサ外に搬出されたということを示す閾値(誤検出を避けるためにわずかなヒステリシスを有しています)を下回ると、結果が画面上に示され、部品の良/不良がカウントされます。

このアプローチを用いることで多種多様なアプリケーションへの展開可能性が開けました。外部と同期する必要がなく、部品を搬送機構の限界まで高速化することができます。

一点だけ「高速選別」モードには制限があります。各部品が個別に認識されるだけの間隔を以て検査ラインへ投入される必要があります。

渦流探傷機器及びシステム(高速異材選別)



「高速選別」モード利用の必要条件

- ELOTEST IS500またはELOTEST PL500
- ファームウェアバージョン2.1以上
- 割れ検出モジュールCHM500 1つ以上
- センサ(プローブ/貫通型コイル) 1個(単一方式)
または
センサ(プローブ/貫通型コイル) 2個(標準比較式/ASSアダプタ経由)

「高速選別」モードのインストール

- 「高速選別」が発注システムの一部となる場合、出荷前にアクティベートされて納入されます。
- 後から「高速選別」モードを追加することも可能です。
- その場合はファームウェアをバージョン2.1.670以上にしておく必要があります。
- 装置のシリアル番号に対応したライセンスファイルを、USBスティック経由で装置にインストールします。

技術データ:

検査周波数:	10 Hz~12 MHz	部品評価ゲート数:	4
検査スピード:	最大200個/秒	部品評価ゲート形状:	円、ボックス、楕円、X、Y、水平、垂直
部品スピード:	搬送機構の上限に規定される	部品認識ゲート設定:	手動
部品認識:	自動的に反転点を決定	部品評価ゲート設定:	手動
部品認識ゲート数:	2(1つ+誤検出防止ヒステリシス閾値)	評価出力:	4(チャンネルモジュールまたはI/Oカード経由[24 Vパラレルまたはフィールドバス])

ローマン・ジャパン株式会社

144-0051 東京都大田区西蒲田7-26-11 Flos蒲田10階 ● Tel: 03-6715-9007 ● www.rohmann.co.jp ● Email: sales@rohmann.co.jp